

## 連邦政府研究パブリック・アクセス法 2006 (Robin Peek)

Peek, Robin. The Federal Research Public Access Act of 2006. *Infotoday* May 8, 2006.  
<[www.infotoday.com/newsbreaks/nb060508-2.shtml](http://www.infotoday.com/newsbreaks/nb060508-2.shtml)>

2006年5月8日

オープンアクセスの歴史における最大の出来事の一つがまさに起こるかもしれない。5月2日、共和党のテキサス州選出の上院議員 John Cornyn は、超党派の連邦政府研究パブリック・アクセス法 2006 (FRPAA: Federal Research Public Access Act 2006) (S.2695) を提出した。本立法は民主党のコネティカット州選出の上院議員 Joe Lieberman との共同提案である。法案が通過すると、その方針は、1億ドル以上の研究予算を持つ機関が、その機関の研究助成の成果である論文を出版の6ヶ月以内にオンラインで利用できることを保証するための方針を制定することを要求するであろう。

「毎年、連邦政府は550億ドル以上を基礎及び応用研究に投資する。それはおおざっぱに言って、わがテキサス州の現在の2年分の予算の40%である」と Cornyn は上院での法案提出の演説の中で注意した。この資金の大半は、米国国立衛生研究所 (NIH: National Institute of Health), 国立科学財団, 航空宇宙局 (NASA), エネルギー省, 農務省を含む、ほぼ10機関に支出される。これらの機関は、通常、大学やヘルス・ケア・システムや他のグループの外部の研究者が遂行する研究の助成に資金を使用している。

本法案は、2005年に施行された NIH のパブリック・アクセス方針を反映した象徴的なものと見られる。NIH の方針は研究者にとって任意であり、資格のある研究の4%しか PubMed Central に入らなかったのが失敗同然であると見られている。

Lieberman によれば、「納税者が助成した研究は納税者がアクセスできるべきだ。私たちの法案は、公衆に対する新しい治療をもたらす助けとなる科学の発見と進歩へのアクセスをコネティカットと国全体の研究者や医療専門家や患者に対して提供するだろう。」

本立法は助成機関から全部であれ一部であれ、助成を受けたあらゆる研究者が機関に対して査読雑誌への出版が認められた最終原稿の電子コピーを提供することを要求する。

助成機関は、無料のパブリック・アクセスを許可し、相互運用性を持ち、長期保存用に設計されている、当該機関が維持管理するレポジトリ又は他の適切なレポジトリに原稿が安定して保管されることを保証しなければならない。

最後に、本立法は、各納税者が助成した原稿に対するできる限り早く、そして査読雑誌での出版後6ヶ月以内の無料でのオンライン・アクセスを要求する。

「この情報を公衆に利用できるようにすることは、より迅速な発見や技術革新や治

療をもたらす」と **Cornyn** は述べた。「本法案は米国の納税者にその研究投資に対する多大の利潤をもたらすだろう。」

**Cornyn** のウェブサイトによれば、上院議員は情報に対するパブリック・アクセスの増進についての有数の提案者である。上院では昨年 6 月に **Cornyn** の連邦政府立法の公開の増進をもたらす立法を通過した。さらに、**Cornyn** は、全国政府法に対する公開性効果促進（**OPEN Government Act, S.394**）と情報公開法処理遅延諮問委員会（**advisory Commission on Freedom of Information Act**）を設置する法案を提案した。

「この法案による研究に対する拡大されたアクセスは、科学と医学における真の技術革新を加速するのに役立つだろう」と **SPARC**（**Scholarly Publishing and Academic Resources Coalition, Alliance for Taxpayer Access** の創設メンバー）の事務局長 **Heather Joseph** は述べた。「公衆の関心は明確である。それが、潜在的なインフルエンザへの対応や代替エネルギーの開発や地球温暖化への歯止めをスピードアップするかどうかである。公的助成を受けた科学に対するアクセスはかつてなかったほど重要である。」と **Joseph** は付け加えた。「連盟（**The Alliance**）は、これらの分野での連邦正否の投資に関する納税者の利潤を私たちがさらに活用できることに同意している議会の指導者から励まされている。」

「研究に対するパブリック・アクセスは科学の分野を越えた知識の共有を拡大し、また、それは研究における複数分野の飛躍的進歩を加速する最善の方針である」とノーベル賞受賞者であり、ニューイングランド生命研究所（**New England Biolabs**）の研究部長 **Richard J. Roberts** は述べた。「科学者及び納税者として、私はこの法案を連邦政府の税金で支援された科学的知識の普及の妨害、遅延及び障害となる障壁を取り除くので支援する。」

**FRPAA** は **NIH** のパブリック・アクセス方針の欠陥の一つを除けば修正しているが、それは「まだ法案で」、実施政策ではないとオープンアクセスの長期間にわたる主唱者である **Stevan Harnad** は意見を述べた。「**EC** と同様に **RCUK** がまとまり、オープンアクセスで即時保管と即時公開を義務化するという二重の保管・公開方針を実施するまでまだ時間があるが、米国はそうする前に、残りの欠陥（遅延保管）を修正すべきだ。」

無論、誰もがこの法案に満足しているわけではない。*The Washington Post* の記事で米国出版社協会（**Association of American Publishers**）の会長兼経営最高責任者である **Patrica S. Schroeder** は（驚くことではないが）闘争を宣言した。「査読を行い、これらの論文を編集し、そして誰でもが理解できる形式にまとめ上げるのにどれくらい経費がかかるのかを私たちが一般の人にわかってもらえていないことに失望している」と **Schroeder** は述べた。

**Cornyn** は「この立法は助成研究に対するパブリック・アクセスの拡大に対する常識的アプローチはである。そしてそれは科学的革新と発見を援助するだろう。」と述べた。

## 本記事のリンク

Senator Cornyn's Web Site with Bill Text and FAQs

<http://cornyn.senate.gov/index.asp?f=record&lid=1&rid=237171>

The Alliance for Taxpayer Access

<http://www.taxpayeraccess.org>

Peter Suber's blog—Open Access News

<http://www.earlham.edu/~peters/fos/fosblog.html>

SPARC FAQ on FRPAA for University Administrators and Faculty

<http://www.arl.org/sparc/resources/frpaa.html>

National Institutes of Health—Public Access

<http://publicaccess.nih.gov>

Association of American Publishers

<http://www.publishers.org>

Contact Information for Members of Congress

<http://www.congressmerge.com/onlinedb/powersearch.htm>